

# 四年生 国語 学習プリント

四年組  
前名組

- 声に出して読みましょう。読めたら〇をひとつぬりましょう。

P	下P104 初雪のふる日 安房直子 寺門孝之 絵作 これまでに学習したお話 (題名を書こう) 」
	○○○○○○○○○○

○教科書下P132 「百人一首に親しもう」の中から、好きな短歌を書き写し、声に出して読みましょう。暗記できたら合かくマークをつけましょう。

秋の田のかりほの庵の苦をあらみ  
我が衣手は露にぬれつづ 天智天皇



○ 次の(1)～(10)の文の——部のひらがなを漢字に直して、ていねいに書きましょう。



(1) 会社で | はたらく。

(2) 十年後の | みらい を想ぞうする。

(3) 百円玉 | こうか でしはらう。

(4) きずが | なおる。

(5) しゅげい | に関心をもつ。

(6) みずの | りょう が多い。

(7) バスの | てい 留所 | りゅうじょ で待つ。

(8) こなゆき | がふる。

(9) 風が | つめ たくなる。

(10) おまじないを | となえる。

(11) 町の | しょくどう に入る。

(11)

(10)

(9)

(8)

(7)

(6)

(5)

(4)

(3)

(2)

(1)

☞ 教科書下「わたしの研究レポート」(p94～)「まちがえやすい漢字」(p102～)でたしかめましょう。  
「初雪のふる日」(p104～)でたしかめましょう。

# 漢字・語句の復習「ことわざ・故事成語・ローマ字」

このページの答えは、次のページにあります。



(例) [いぬ]  
↓  
inu

(1) [たべもの]  
↓

(2) [あさって]  
↓

(3) [hyaku]  
↓  
[ ]

[3] 次の(1)と(2)の言葉を、例のように、ローマ字でていねいに書きましょう。また、(3)のローマ字の読みをひらがなで書きましょう。

[3] 次の(1)と(2)の言葉を、例のように、ローマ字でていねいに書きましょう。また、(3)のローマ字の読みをひらがなで書きましょう。

[2] 「五十歩百歩」という故事成語の使い方として最もふさわしいものを、ア～ウの中から一つ選んで、記号に○をつけましょう。

ア 姉と私は、残りのケーキをどちらが食べるのがでもめていた。すると、母が私たちを注意して、もめごとに関係のない弟に食べさせた。弟にとつては、五十歩百歩だ。

イ 私たちの学級では、学年で行われる学級対抗ドッジボール大会での優勝をめざして、ほかの学級よりもずっと前から練習を始めた。だから、優勝できたのは、五十歩百歩だ。

ウ 山口さんと川島さんが、学校で出された宿題を五回忘れたのか、六回忘れたのかで言い争っていた。このようなことで言い争う二人は、五十歩百歩だ。

- ア 何事もやってみないと、よさが分からること。
- イ あることが得意な人でも、失敗することがあること。
- ウ 住み慣れると、そこが一番暮らしやすくなること。
- エ しんぼう強くやれば、よい結果が得られること。

[1] 「石の上にも三年」ということわざの意味を、ア～エの中から一つ選んで、記号に○をつけましょう。

# 漢字・語句の復習「ことわざ・故事成語・ローマ字」

答  
え

「答  
え」

しんぼう強くやれば、  
よい結果が得られること。

〔  
ウ  
〕

「五十歩百歩」

少しの違いはあつても、  
本質的・結果的にはほとん  
ど同じであること。

〔  
3  
〕

(1) [たべもの]  
↓

tabemono

(2) [あさって]  
↓

asatte

(3) hyaku

〔ひ ゃく〕

\* 〔1〕の問題の中についた、



「レッツ・トライ !!」



イ あることが得意な人でも、失敗す  
ることがあること。

ウ 住み慣れると、そこが一番暮らし  
やすくなること。

という意味を表すことわざを探して  
みましょう。

\* 中国に伝わる古い出来事や物語がも

とになっている、ことわざに似た短い  
言葉を「故事成語」といいます。

次の故事成語の意味や、もとになつた  
話を調べてみましょう。

・「百聞は一見にしかず」

・「矛盾」

・「漁夫の利」

